

施工体制確認型を拡大

全発注案件の4割で試行

落札者	07年度 （07年4月 ～08年1月）		06年度（1年間）		05年度（1年間）	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
最高得点技術課長	590	49.3%	584	38.3%	192	40.0%
うち最低価格以外	75	12.7%	56	9.4%	3	2.9%
うち最低価格	515	87.3%	538	80.6%	99	97.1%
最高得点技術課長以外	606	50.7%	957	61.7%	153	60.0%
うち最低価格以外	84	10.6%	52	5.4%	1	0.7%
うち最低価格	542	89.4%	905	94.6%	152	99.3%
全落札件数	1198		1551		255	
うち最低価格以外	139	11.6%	108	7.0%	4	1.6%
うち最低価格	1067	88.4%	1443	93.0%	251	98.4%

これにより全業件数の約4割に施工体制確認型が適用される見通し。極端な低価格受注を排除し、工事品質を確保するのが狙い。

東北地方整備局は、総合評価方式の施工体制確認型の先行対象工事を08年度に拡大する。すべてのプレストレスコンクリート工や鋼構工事に加え、1000万円以上の港湾空港関係工事、その他の1億円以上の工事に適用する。

最低価格以外の業者が受注する、いわゆる「逆転落札」件数は139件、
11・6％で、08年度（7・0％）に比べ約1・7倍に上昇した。同方式の08年度の実施方針や実施状況などは、13日に開かれた「東北地方整備局総

更なる。また、これ以外の工事にも積極的に採用する。

ちなみに07年度の施工体積確認型の適用件数は08年1月末までで1500件で、全体の1割強となっている。

評価点では加算点の概

合併評議員会(二)委員長
澤本正樹東北大教授
その他「耳聞部会」の全
同会合で、報告された。
08年度の総合評価方針
の策定方針では、施工体
制構築型の軌行工事の運
用を、従来の「すべての
フレストレストコンクリ
ート工事、鋼橋工事」
「その他の2億円以上の
全工事」から、▽すべて
のフレストレストコンク
リート工事、鋼橋工事▽
1000万円以上の港湾
空港関係工事▽その他の

年(1局)の総合評価方式
07年度(07年4月～08年3月)の総合評価方式

のタイプ別数は、落札者
型9件・買入型1084
件・社会性買取型約
件・少額自費型約13
件・買入型加算方式1
件となつた。落札者の分析
は技術提案で最高点を獲
た業者の落札件数は60
0件で、全体の49・3
%を占めた。

一方、最低価格以外の
落札件数は75件、全体12
・7%となつた。

一方、技術提案で最高
得点以外の落札件数は6
08件、全体の50・7%

で、うち最優位価格が外
の専売枝数64枝、全
の10・6%となった。今
回の結果を見ても、競
格競争力が高いはずの
技術力がないと選別さ
ない状況が徐々に広がり
ている。

・WTO一般土木機械設備
・管井、河川一般土木
1件、道路・WTO一般
土木2件、道路一般土
木1件、道路・WTO機
械上部1件、道路・鋼
上部3件、道路・POI
件、港灣空港、港灣土木
1件、港灣空港、港灣機
しゅんせつ1件、港灣空
港、空南土木1件、管
渠築1件、機械電通・W
TO機械設備1件、機
電通・機械設備1件の26
件、国際計11件を審議し
て承認した。